

公園整備における住民参加意識の一考察

名城大学 正会員 高橋 政稔
 名城大学 学正員 ○榊原 潤 鶴飼 紘光 大庭 健輔

1. はじめに

近年、都市の大規模な公園や緑地は、多くの人々がゆったり時間を過ごし、コミュニケーションを図っている光景を見るようになってきた。しかし、住宅地内の小規模な公園では、地域に見捨てられたような、どうも生气に乏しい様子が目に付くことが多い。公園を巡るこのような現状を背景に、今日では、定住化社会や高齢化社会に対応した居住環境整備の担い手として、都市公園の整備が急務と言える。公園整備の一つに、公園利用の活性化が挙げられる。活性化を図るためには、形にとらわれない、住民の様々なニーズを集約した公園づくりが必要となる。具体的には、行政が行う公園づくりの計画・設計段階に住民の意見を取り入れたり、住民・利用者を中心とした公園でのイベントの企画・運営等がある。すなわち住民と行政とのパートナーシップをもとにした住民参加による公園づくりが必要となる。そこで本研究では、公園づくりの住民参加意識に対するアンケート調査を実施し、今後「地域に根差す公園づくり」を実現することを目的として、利用者意識の存在を分析・検討する。

2. 調査の概要

アンケート調査は、若者が考える公園を知る目的で、平成 10 年 10 月下旬に、名城大学理工学部土木工学科の学生を中心とする対象に実施した。アンケート項目の概要を表-1 に示す。調査内容は、個人属性、身近な公園の内容、公園の利用度、身近な公園に希望する施設、現在の公園に対する評価、および、今後の公園に対する考えを問うものである。集計結果を表-2 に示す。回答者数は 282 名で、性別は男性が 93.2%、女性が 6.8%（不明者 1 名）、年齢は 20 代が中心となっている（不明者 1 名）。身近な公園の内容は遊具のある広場が半数を占め、それに比べてスポーツ施設のある広場が少ない。公園の利用度は、ありが 56.4%、なしが 43.6%となり、年齢層が若いにも関わらず、公園を利用している人が多いことがわかる。利用度においてありと答えた人の利用目的は、散歩、デート等が多く、リフレッシュやレクリエーション等が少なく、公園に対し、やすらぎを求めているとは限らない。利用度においてなしと答えた人の利用しない理由は、行く必要がないと答えた人が圧倒的に多く、公園の必要性を感じていない人が多い。また、身近な公園に希望する施設の表中の項目は、アンケートに載せた 27 項目の施設のうち上位 4 項目を挙げたものである。遊歩道、噴水、森林浴の場、池ともに水と緑を中心に求めていることがわかる。

表-1 アンケート項目の概要

個人属性	性別、年齢
身近な公園の内容	公園の種類を選択 (複数回答)
公園の利用度	あり(利用目的) なし(利用しない理由)
身近な公園に希望する施設	公園施設の種類の選択 (複数回答)
現在の公園に対する評価	8項目の5段階評価
今後の公園に対する考え	14項目の5段階評価

表-2 集計結果

属性	人数	%	属性	人数	%
性別			利用目的		
男性	262	93.2	散歩	60	22.4
女性	19	6.8	デート	49	18.3
			リフレッシュ	44	16.4
年齢			軽い運動	53	19.8
10代	25	8.9	レクリエーション・遊び	38	14.2
20代	255	90.7	その他	24	9.0
50代	1	0.4	利用しない理由		
身近な公園の内容			公園に魅力がない	27	18.4
遊具のある広場	212	50.8	行く暇・機会がない	41	27.9
スポーツ施設のある広場	71	17.0	公園に行く必要がない	74	50.3
芝生公園	120	28.8	その他	5	3.4
その他	14	3.4	身近な公園に希望する施設		
公園の利用度			遊歩道	151	9.2
あり	159	56.4	噴水	149	9.0
なし	123	43.6	森林浴の場	110	6.7
			池	109	6.6
			その他	1131	68.5

3. 調査の分析

公園の利用者意識と評価の関連性の分析として、アンケートにおける現在・今後の公園の5段階評価に母平均値の差の検定を行った。評価・考えの各項目の利用度別・性別の平均値の比較を表-3、表-4に示す。現在の公園に対する評価の全体を見ると「整備環境」、「景観」、「みどりの量」等のハード面では評価が高いが、「愛着度」、「満足度」等のソフト面の評価が低い。検定において有意差が見られた項目は、利用度別では「公園の量」以外全ての項目で、全ての項目においてよく利用する人の平均値が高い。平均値の差に開きのあった項目は「愛着度」、「満足度」で、公園に対する関心の違いが分かる。また性別では、「景観」、「公園の量」で有意差が見られ、2項目とも女性の平均値が高いが、利用度別に比べ差が見られた項目数が少ないので性別に関しては差がないように感じられる。次に今後の公園に対する考えの全体を見ると、「公園の維持管理」、「手作り公園」等の要求が低く、住民参加の公園づくりの参加意欲は決して高くはない。しかし「コミュニケーションを深めるための公園」、「個性ある公園」、「ニーズに応える公園」、「公園緑化」等の要求が高く、地域の特性を生かし住民の期待にそった公園づくりが求められていることが分かる。検定において有意差が見られた項目は、利用度別では「地域の象徴」、「改善後の利用」、「手作り公園」の項目で、こちらも全ての項目においてよく利用する人の平均値が高く、よく利用する人の公園整備に対する積極性が伺える。また性別では、「施設の改善」、「公園緑化」で有意差が見られ、こちらも2項目とも女性の平均値が高い。「施設の改善」の項目において平均値の差が0.7あり、遊具等に関して性別における改善要求の違いが分かる。だが現在の公園に対する評価に比べ差が見られた項目数かともに少ないので利用度、性別に関しては差がないように感じられる。以上の結果が明らかになった。

4. おわりに

本研究では、アンケート調査の結果から、若者が考える公園の評価を示し、利用者の公園づくりの住民参加意識を追究した。現在の公園の評価からは、公園の整備環境等は評価しているが、愛着・満足感はさほどない。今後の公園に対する考えからは、住民参加の意欲は決して高くないにもかかわらず、公園整備に期待する部分がある等の結果が出た。これからは、公園整備において、如何に利用者に住民参加の考えを浸透させていくかが重要となる。

表-3 現在の公園に対する評価の各項目平均値の比較

比較群	Total	公園の利用度			性別		
		有	無	t値	男性	女性	t値
N	282	123	159		262	19	
整備環境	3.1(0.9)	3.3(0.9)	2.8(0.8)	3.8***	3.1(0.9)	3.2(0.9)	0.7
景観	3.1(0.9)	3.3(0.9)	2.8(0.8)	4.2***	3.0(0.9)	3.5(0.8)	2.1*
広さ	2.9(1.1)	3.2(1.2)	2.5(1.0)	4.8***	2.9(1.1)	3.1(0.9)	0.6
利便性	2.8(0.9)	3.0(0.9)	2.6(0.8)	4.1***	2.8(0.9)	3.0(0.9)	0.7
満足度	2.8(0.9)	3.1(0.9)	2.5(0.7)	5.2***	2.8(0.9)	3.1(0.8)	1.1
みどりの量	3.1(1.1)	3.3(1.1)	2.8(1.0)	3.5***	3.0(1.1)	3.2(1.2)	0.4
愛着度	2.8(0.9)	3.1(1.0)	2.4(0.8)	6.0***	2.8(0.9)	3.0(1.0)	1.0
公園の量	2.7(0.9)	2.8(1.0)	2.6(0.9)	1.1	2.7(0.9)	3.3(1.0)	2.8*

()内は不偏標準偏差 *P<.05, ***P<.001

表-4 今後の公園に対する考えの各項目平均値の比較

比較群	Total	公園の利用度			性別		
		有	無	t値	男性	女性	t値
N	282	123	159		262	19	
住民による公園の計画・設計	3.1(1.1)	3.2(1.1)	3.1(1.1)	0.3	3.1(1.1)	3.2(1.0)	0.3
個性ある公園	3.4(1.2)	3.5(1.2)	3.4(1.3)	0.7	3.4(1.2)	3.5(1.3)	0.2
地域の象徴としての公園	3.2(1.2)	3.3(1.1)	3.0(1.2)	2.5*	3.2(1.2)	3.0(1.2)	0.7
公園施設の改善(遊具等)	3.2(1.1)	3.1(1.1)	3.3(1.1)	1.4	3.2(1.1)	3.9(0.8)	2.7**
住民と行政との話し合いの場	2.7(1.0)	2.7(1.0)	2.8(0.9)	1.0	2.7(1.0)	3.1(0.9)	1.4
住民による公園緑化(花壇等)	3.3(1.1)	3.4(1.0)	3.2(1.2)	1.3	3.3(1.1)	3.8(0.8)	1.9*
住民による公園美化(清掃等)	3.4(1.1)	3.4(1.0)	3.3(1.1)	0.7	3.4(1.1)	3.6(1.0)	1.0
都市緑化としての公園	3.5(1.1)	3.6(1.0)	3.3(1.1)	1.6	3.5(1.1)	3.4(1.1)	0.4
改善された公園の利用	3.3(1.0)	3.5(0.9)	3.1(1.0)	2.9**	3.3(1.0)	3.6(1.0)	1.2
住民だけの手作り公園	2.5(0.9)	2.6(0.9)	2.3(0.9)	2.3*	2.5(0.9)	2.6(0.9)	0.7
住民と行政による公園づくり	3.0(1.0)	3.1(1.0)	2.9(1.0)	1.7	3.0(1.0)	3.3(1.0)	1.2
住民による公園の維持管理	2.8(0.9)	2.9(0.9)	2.8(0.9)	1.1	2.8(0.9)	3.2(0.8)	1.5
住民のニーズに応えられる公園	3.4(1.1)	3.4(1.1)	3.4(1.1)	0.4	3.4(1.1)	3.6(1.0)	0.9
地域のコミュニケーションを深めるための公園	3.3(1.0)	3.4(1.0)	3.2(1.0)	0.9	3.3(1.0)	3.4(1.0)	0.5

()内は不偏標準偏差 *P<.05, **P<.01